

## RFMD ニュース

### 会社連絡先:

RF Micro Devices Inc.  
Brian K. Cockman, Public Relations Specialist  
7628 Thorndike Road  
Greensboro, NC 27409-9421, USA  
電話: +1 (336) 678-8945  
[bcockman@rfmd.com](mailto:bcockman@rfmd.com)



[rfmd.com](http://rfmd.com)

## RFMD社がGaN広帯域パワーアンプのラインアップを拡大

### 軍用機器の一流メーカー向けにGaN新製品の出荷を開始

ハワイ州ホノルル、2007年6月 11日 (IEEE MTT-S): 移動通信駆動用各種アプリケーション向け高性能無線システム/ソリューションの設計、製造で世界をリードするRFMD社(ナスダック:RFMD)は本日、軍用機器大手メーカー向けに窒化ガリウム(GaN)による広帯域パワーアンプIC、RF3822の出荷を開始したことを発表した。RF3822 PowerICは 0.1GHz~1GHz の周波数範囲で動作可能なため、軍事通信用のソフトウェア無線機(SDR)などマルチバンド動作や広帯域が要求される用途に理想的なパワーアンプ。

携帯電話用パワーアンプでGaAs HBT技術が優位に立ったのと同じく、競合技術より優れたGaN技術固有の性能は軍用システムや無線インフラ向けの高電力増幅器(HPA)の市場に浸透する可能性があることRFMD社は考えている。

GaAs/化合物半導体の市場調査サービスを行う戦略解析担当ディレクターであるアシフ・アンワルによれば、「RFMDをはじめとする数社が供給する窒化ガリウム(GaN)トランジスタ/ICの市場は、3GやWiMAXのインフラ向けパワーアンプの年間7.2億ドル超市場で大きなシェアを獲得する他、高帯域で高効率と高出力が得られる半導体を必要とする軍事/防衛関係の分野でもシェアを得るものと考えられる。」という。

「RF3822の初出荷は、当社のGaN技術やGaN製品のラインアップに対する顧客の興味がますます高まってきたことを示しています。当社は引き続き軍用通信、無線インフラ、業務用移動無線、汎用パワーアンプ、高出力レーダーなど複数の成長市場で既存顧客や新規顧客の積極的な感心を集めていきます。」とインフラ製品グループを担当するRFMD社のジェフ・シーラー副社長は語る。

「当社が新たに投入したGaN製品は、当社独自のGaAs技術による既存の複数市場向け製品にもそのまま応用が可能です。世界最大のGaAsメーカーである当社は、巨大な携帯端末市場向けに使用中の同じ製造用資産を活用してこの市場の強力な参入を図ります。当社はその中核的な強みと携帯市場におけるリーダーとしての地位を生かし、新たな高成長市場における売上げ機会の拡大と顧客の多様化に対応していきます。」とRFMD社の社長兼CEOボブ・ブラッグワースが補足する。

RFMD社の28V動作、10W出力のGaNパワーアンプRF3822は50Ω系で16dBの利得を持ち、極めて広い動作帯域で高効率を得られるよう最適化されている。RF3822は高度なヒートシンク/電力放散技術を利用して、高出力で安定した利得と優れた温度安定度を実現している。

RF3822はRF382Xシリーズのデバイスで、業界標準のSOIC-8パッケージと共通のフットプリントで表面実装が可能な低コストの窒化アルミニウム・パッケージで供給される。RF382Xシリーズでは統合パッシブ技術によるインピーダンス整合が行われ、広い周波数帯域にわたって非常に高いピーク効率が得られる。RF382Xシリーズは3G携帯電話のインフラ、軍用通信機器、ソフトウェア無線機(SDR)、業務用移動無線等のアプリケーションに最適である。

RFMD社はこの月に軍用機器大手メーカーからGaN広帯域パワーIC、RF3825の発注を受けた。RF3825は0.2GHz～1.9GHzの周波数帯域をカバーする10W出力のデバイス。

## RFMDについて

RFMD社は移動通信の主要アプリケーション向けに高性能な無線システム/ソリューションの設計、製造を行う会社で、業界のグローバル・リーダー。RFMD社のパワーアンプ、送信モジュール、携帯電話用トランシーバ、およびシステム・オン・チップ(SOC)ソリューションは現在および次世代の携帯端末、基地局、無線ローカルエリアネットワーク(WLAN)、無線パーソナルエリアネットワーク(WPAN)、全地球測位システム(GPS)などの最新機能をサポートし、全世界的なモビリティの向上と接続性の拡大に寄与する。最先端の半導体技術による幅広い製品ラインと無線システムの豊富な経験で定評のあるRFMD社は世界中の主要な移動通信機器メーカーに選ばれ、現在および将来の市場要求を満たす最新の無線機能を提供している。

ノースカロライナ州グリーンズボロの拠点を本社とするRFMD社はISO 9001 および ISO 14001 の認証を取得済みのメーカーで、世界各地にエンジニアリング、設計、販売、サービスの拠点を持っている。RFMD社は「RFMD」の略号で米ナスダック市場に上場している。詳しい情報はRFMD社のホームページ、[www.rfmd.com](http://www.rfmd.com) に紹介されている。

このプレス・リリースには、1995年米国私募証券訴訟改革法(Private Securities Litigation Reform Act)がその免責条項として定める「将来的な予測」が含まれています。この「将来的な予測」には当社の計画、目的、説明、主張などについて、またはそれ以外についての記述が含まれていますが、これらの記述は歴史的な事実ではなく、通常は「可能」、「必要」、「予測」、「期待」、「予定」、「計画」、「推測」、「確信」、「推定」、「予想」、「可能性」、「継続」などの用語や類似の用語とともに使用されています。またこれらとは別の表現で「将来的な予測」が記述される場合もあります。この文書に含まれている「将来的な予測」の記述は現時点における経営陣の判断や期待を表していますが、実際の成果や出来事、業績などはこれら記述で表現されたり暗示されたりした内容とは実質的に異なる場合があります。当社は米国連邦証券取引法により要求される場合を除き、これら「将来的な予測」の記述内容を改訂したり、あるいはその記述の改訂を公表したりする意図を持っていません。RFマイクロデバイセス社の事業には多くのリスクや不確実性が内在しており、その内容には四半期毎の経営成果の変動、無線関連市場の発展や成長率、ウェハ製造施設、分子線エピタキシー施設、組み立て施設、試験、テープ、リール施設など各種製造施設の稼働に関するリスク、熟練技術者や開発リーダーを採用・確保する当社の能力、生産歩留りの変動、革新的技術によりコストを削減し正味利益率を改善する能力、新製品を市場に投入する能力、製品需要に即応したタイムリーな生産能力の調整を行う能力、限られた顧客への依存性、サードパーティへの依存性などが含まれています。上記以外も含むこれらリスクや不確実性については米国証券取引委員会の様式10-Kに従ったRFマイクロデバイセス社の最新アニュアルレポートの中で説明されていますが、このような不確実性のため、これら記述の表現や暗示による内容と実際の成果や出来事、業績とは実質的に異なる場合があります。

RF MICRO DEVICES® およびRFMD®はRFMD, LLCの商標である。その他の商品名、商標、登録商標はそれぞれの所有者の財産である。

###